品川区政ニュース

No. 62
発行所
品川区北品川[illegible]
品川区役所
発行人　小[illegible]
月1回発行

臨時区議会開会

区税条例、支所設置条例を改正

助役に小林氏　収入役に戸田氏就任

第一回臨時区議会は去る六月十一日招集された。当日の臨時会の主なる議案は特別区税条例の改正である。

会議は午後四時十五分開会された。例により議長より会議録署名人の指名があつた後、在原庁舎建設委員会並びに清掃運営委員会の委員の指名があり、引続いて議長より諸報告について報告があつた。

ついで中大路議員より区政一般質問があり総務課長より答弁、この質問に関連して川島議員、水島議員より質問があつた。続いて高木議員より稀響の問題、報酬の問題について質問、中村、北川、水島議員より活潑なる討論が行われた。次いで日程に電力値上反対に関する議案を追加して直ちに日程に入つた。

総務課長より区税条例の一部改正に対する提案理由の説明を行い総務、財務各委員長より委員会の経過について報告を行い質疑に入つた。陳内議員等より質問があり税務課長より答弁を行つた後原案通り可決した。

ここで二十分間休けいを行い電力値上反対決議案を各党共同提案により上程、陳内議員が提案理由説明を行い万場一致可決、この値上反対実行のため六名よりなる小委員会設置することを決定して散会した。

第二回臨時区議会は六月二十八日に招集され午後二時二十分開会された。例により議長より会議録署名人の指名、諸願に対する報告等があつた後、陳内議員より電力値上反対に関する小委員会の報告あり、大好議員より農耕組合に関する報告、相原議員より在原庁舎建設に関する報告があつた。

次いで長沢議員より、一般質問を日程終了後に行うことに対する動議あり異議ありの声あつたが、議長裁決の結果賛成多数にて可決した。

次いで日程に入り、区長より昭和二十六年度東京都品川区歳入歳出追加予算の提案理由の説明を行つた。引続き相原財務委員長の経過報告あつた後質疑に入つた。まず坂議員登壇、追加予算について質問に入つた。途中一たん休けい五時十分再開引続き坂議員の追加予算に対する質問を続行、質疑中議長時間延長を計りそのまま続行したが、議場そうぜんとしているので議長休けいを宣した。九時三分再開、坂議員の質問を続行、再開後坂議員簡単に質問要旨をのべて降壇、区長、経理課長より答弁を行つた。次に梶谷議員より道路補修の問題について土木第二課長に質問、土木課長より答弁あつた後、予算案を原案通り可決した。

次に助役の選任同意について区長より提案説明あり、新助役に小林誠一氏を選任することに同意決定小林氏より挨拶があつた。

次に収入役の選任同意の提案説明あり、収入役に土木第一課長戸田耕作氏を選任することに同意決定した。ここで磯部収入役より退任の挨拶、戸田氏より就任の挨拶があつた。

次に支所設置条例の一部改正について区長より提案理由説明あり坂議員より反対意見、北川議員より賛成意見あつて議長裁決の結果原案通り決定した。

次に目戸議員より民生問題について質問、北川議員より東京新聞に掲載されたるような事について、区議会に調査委員会を設置する事を提案、これを異議なく決定し議長より調査委員の指名があつた。

次に高木議員より一般質問があつて散会した。

助役に小林誠一氏　収入役には戸田耕作氏、

第二回臨時区議会で同意を得て助役には小林誠一氏、収入役には戸田耕作氏と決定した。

小林氏は東大を卒業後、長野、島根、愛媛、静岡の各県の課長、鳥取、北海道、山口各県の部長を経て昭和二十二年松江市長に公選昭和二十六年任期満了で退任した。（四十七歳）

戸田氏は大正十二年以来東京市建設局各出張所長、各区土木課長を経て昭和十八年本区土木課長となつた。（五十四歳）――

特別委員会委員氏名

区議会には常任委員会の外に次の特別委員会が設置されている。各特別委員の氏名は次のとおり

◉委員長　○副委員長

在原庁舎建設委員会

◉相原紋右衛門　○鏑木　敦
中川　長則　上辻　留吉
石川　勝　大淵金治郎
長沢七次郎　大好　寛二
梶谷吉太郎　水島　徳治
権正　博　木室　利助

清掃運営委員会

◉川島平三郎　○早川　久蔵
○石川　勝　榎本　操
○小畑末次郎　桜井庄右衛門
北川清右衛門　大淵金治郎
村田　謙　河内寅太郎
相原紋右衛門　笠井　正一
長谷川任三郎　中大路満喜子
佐藤　五郎

電力料金値上反対小委員会

◉陳内　静市　○宮内吉三郎
長沢七次郎　水島　徳治
大脇　正信　高木　陽一

調査委員会

◉北川清右衛門　○坂　紫
相原紋右衛門　大沢徳次郎
中村　興　川島平三郎
目戸　繁栄　稲葉　光男

七月一日から実施された 區役所の新しい機構

七月一日から区役所の機構が変りました。

まず従来の荏原庁が荏原支所となり、区役所の課係の名称は次のようになつた。

総務課（総務係では新にいままでの区民係の仕事もやることになつたことと統計係が新に総務課となつた）
総務係
職員係
文書係
統計係

財務課（経理課が財務課と名称が変つた）
経理係
予算係

税務課（税務第一課を税務課と改めた）
税務係
区民税係
整理係

学務課（教育課を学務課と改め社会教育係が別になつた）
学事係
施設係

経済課（食糧係と日用品係を合せて経済係となつた）
経済係
産業係

民生課（民生第一課を民生課と改めた）
厚生係
保護係

社会教育課（新に新設された課であつて従来の社会教育の仕事を拡充した）
文化係
体育係

戸籍課（戸籍第一課を戸籍課と改めた）
本籍係
寄留係

土木課（土木第一課を土木課と改めた）
管理係
土木係

建築課（建築第一課を建築課と改めた）
指導係
建築係

荏原支所

支所では区役所と同様の課係でありますが、但次の二課だけが異ります。

庶務課（区役所は総務課）

財務課は支所にはなく、又従来は第二課と言つていたがそれが改められた。

大崎警察署新庁舎落成

大崎警察署は七月九日東大崎四の一四四に新築の庁舎に移つた。電話は従来通大崎（四九）一八〇〇番である。

品川第二出張所の電話変更

南品川五の二四に新築した品川第二出張所の電話番号が変更になつた。

大崎（四九）七七九三

昭和26年度東京都品川区歳入歳出追加予算

（歳　入）

科目	追加予算額	既定予算額との合計	説明
3. 使用料及手数料	143,000	3,712,420	
2 手数料	143,000	3,648,320	主食購入（政府買入手数料）
4. 都支出金	3,269,060	27,202,820	
1 都補助金	3,269,060	27,202,830	産業経済費 土木費 教育費 選挙費 民生費 統計費 [illegible] 等の補助
6. 繰越金	7,742,850	14,606,850	
1 前年度繰越金	7,742,850	14,606,850	
7. 雑収入	153,690	15,251,990	
5 繰替金戻入	107,000	107,000	
6 雑入	46,690	3,746,790	
合計	11,308,600	224,372,890	

（歳　出）

科目	追加予算額	既定予算額との合計	説明
2. 区役所費	2,486,640	108,799,760	
1 庁費	1,486,640	104,800,860	備品・修繕 分担金等
2 職員厚生費	1,000,000	3,998,900	退職金
3. 土木費	3,835,950	21,916,850	
1 道路橋梁費	3,836,950	19,349,250	
4. 教育費	3,443,660	57,438,690	
1 小学校育費	725,360	30,547,530	施設費
3 学校体育費	1,651,300	3,406,300	
9 六三制整備費	1,067,000	5,279,000	
5. 民生費	123,400	1,374,600	
2 厚生諸費	123,400	294,810	
6. 産業経済費	1,098,000	1,469,500	
3 配給統制事務費	1,098,000	1,205,000	
7. 選挙費	220,000	6,039,140	
2 区長区議会議員選挙費	135,800	2,941,940	
3 知事都議選挙費	84,200	2,437,200	
8. 統計費	48,250	48,250	
1 学事統計費	9,150	9,150	
事業所統計調査費	39,100	39,100	
9. 諸支出金	51,700	14,917,900	
9 諸費	51,700	304,900	募金許可事務費 狂犬病予防対策事務費
合計	11,308,600	224,372,890	

臨時区議会で可決された条例

特別区税条例の改正

地方税法の改正に伴い区税条例の一部を改正したもので、先に御知らせした以外で、新らたに加えられた点としては同族会社に対する納付又は納入の義務、徴収猶予の制度を設けたこと、使用人税が廃止された事等である。その他は区政ニュース六〇号を参照願いたい。

支所設置条例の改正

先に制定された支所設置条例では荏原支所は庶務、税務、戸籍、土木、建築の五課を置く旨規定せられていたが、支所の課については区長が設置できるので条例から削除した。

スクエアダンスに 暑さを忘れて

スクエアダンスは老若男女の健全なレクリエーションとして、益々盛となつて来たが、七月のスケジユールをお知らせすると

七月二十四日から二十六日までの三日間第三日野小学校で午後六時から八時まで講習会を行う他、

七月二十九日の日曜には、鎌倉材木座の海水浴場で盛大な海浜パーテイを開く事になつた。当日晴天の時は品川駅八時三〇分集合九時出発の予定である。

電力料金値上反対決議文 ご意見書を提出

第一回臨時区議会において、電力値上反対に対する決議を各党万場一致で可決した。院内議員が電力料金値上反対小委員長となつて次の決議並びに電力料金値上反対の意見書を安定本部、物価庁、公共事業委員会、通産省、都議会に提出した。

決議文

電力料金値上絶対反対

右決議す

昭和二十六年六月十一日
東京都品川區議會

電力料金値上反對の意見書

消費者を無視した一方的認定による物価史上空前とも云うべき一挙の高率値上は、区民生活を極度に脅かすものであるから絶対に反対する。

一、旧国配当時驚くべき巨額の純益をあげてきたのに企業合理化を行つた新電力会社発足と共に大幅値上げは納得できない。

一、電源開発並びに拡充又は、改良に要するもの或いは固定資産税等を挙げているが、是れは他の企業と同様で特に電力会社だけが値上の理由にならない。社債か増資に依つて賄うべきで消費者に分担させるべきでない。

一、経営の合理化サービスの改善即ち役職員数の削減％ロスの改善経理の健全人員機構の簡素化を行い、区民生活の最低線維持に必要な電力料金は極力安くすべきである。

一、電力の値上により日用生活物資の相当な値上りは火を見るより明かで、直接家計に大きく響きのある電力を大口に使う水道料金、瓦斯料金、国鉄、私鉄、郵便料等特に水道料金について、大幅値上げはいずれも電力値上を主なる理由として居る。区民は日常生活の負担が斯くも倍加しては堪えられない。

しいては社会不安思想の悪化間題を招来して寒心に堪えない。

右品川区三十万区民代表機関の議決をもつて然るべく善処方特に御配意煩し度く地方自治法第九十九条第二項により意見書を提出する

昭和二十六年六月　日
東京都品川区議会議長
田村三二

本區人口と世帯（26. 7. 1）

			前月との増
品川	世帯	46,788	152
	人口 男	93,554	123
	人口 女	89,952	341
荏原	世帯	31,737	291
	人口 男	64,743	541
	人口 女	61,894	475
合計	世帯	78,525	443
	人口	310,143	1,480

請願 学校関係が六割

新議員によつて議会が成立して以来だされた請願書等七月十日現在で採択されたものは次の通りである。

一、荏原庁舎敷地内に行政書士事務所設置方に関する陳情書。

一、大井関ヶ原通り道路補修請願書。

一、第三日野小学校校舎増改築校庭整備に関する請願書。

一、三ツ木小学校改築に関する請願書。

一、第四日野小学校増築に関する請願書。

一、宮前小学校増築に関する請願書。

一、第二日野小学校明溝、垣根設置、プール補修、建具取換、電線取換、手洗場設置、校地早急買収請願の件。

一、第一日野小学校改築調査促進請願書。

一、平塚小学校授業開始促進、教具、校具、給食作業員増員、校舎増築請願書。

一、上神明小学校道路整地費に関する請願書。

一、日野中学校運動場拡張、理科室備品設備、排水設備設置請願の件。

一、電気料値上反対請願書。

一、大井伊藤町都営住宅に関する請願書。

一、西品川に区役所出張所設置に関する請願書。

これらの請願にもとずいて教育委員、建設委員は各請願地区の視察を実施。

区議会常任委員 各地区視察

総務委員は出張所の機構について、世田ヶ谷区役所及び目黒区役所出張所を視察した。

厚生委員は七日新宿区にある都の新宿生活会館を視察、九日には区内厚生施設（民生館その他）を視察。

教育委員は陳情、請願等に伴つて各学校を視察、又十日には臨海学園の候補地である由比ヶ浜、千葉県保田海岸を視察。

建設委員は請願に伴つて道路施設を視察。

臨海学園 鎌倉由比ヶ濱と千葉縣保田海岸に開設

一、鎌倉由比ヶ浜は折茂百貨店経営の海の家を借りる。

收容人員　三〇〇名

費用は小学校児童　七〇円中学校は九一円である。（電車賃を含む）

利用は学校単位で個人の申込は受付けない。

二、千葉県保田海岸

小学校は岡崎屋旅館　富士屋旅館

中学校は小浦旅館　収容人員はいずれも二百名

期間は三泊四日

費用　小学校児童六三〇円　中学校六五〇円

申込はいずれも学校単位に次に申込む

中学校は城南中学校、小学校は品川小学校。

七月中行事日程

○十六日午後八時
CIE映画の会をよつば幼稚園

十六日午後一時
水泳指導者講習会を日野中学校プール

○十八日午後七時
夏の子供の生活緑蔭子供会指導者講習会を大間窪小学校

二十四日より三日間午後六時
スクエアダンス講習会を第三日野小学校

二十八日午後八時
映画鑑賞の夕を第一日野小学校

二十九日午前十時
スクエアダンス海浜パーテイを鎌倉材木座海岸

夏の衛生

「赤痢」は七月三日現在既に四七五三名を数え、昨年同期の約三倍の増加である。此の儘に放置すれば七、八、九月と赤痢の最盛期を控えて今年は二〇、〇〇〇名を突破し昭和十四年に次ぐ大流行が予想される。品川区においては二〇七名の患者が発生して、昨一年間の総数を上回ろうとしている。赤痢の感染は口からで、手、飲食物又は蠅が赤痢菌を口にはこぶのである。本年一月から五月末日までの患者（九六名）（品川保健所調査）について、最も危険率の高いものを上げると感染源は患者から四七、感染場所は家族或いは同居人が四九、感染機会は同様が四〇、家族一人当り畳数一畳以下の所が四〇、感染経路は人が四二、共用便所が六〇、不完備下水六二、不完備排水六一、塵芥捕集しが八九となつて居ります。これによつて見ても赤痢は不衛生な密集地帯で人によつて伝染される事がその大部分をしめて居りますから、食事や調理の前、用便の後に手をよく洗う事は卑近な事ではあるが最も大切な、然も最も有効な予防法であります。赤痢菌は生の物や水の中では何日も生きているものです又非戸は汚水が井戸側を伝つて滲透したり、汚水物を洗滌する場合など飛沫を介して病菌が落込んだりするおそれがあります。蠅は便所や塵芥捨場から発生し、ばい菌を手足につけて、私共の食物にとまります。ですから生の食物は極力さけると共に煮たり焼いたりし、しかも蠅によつて汚されない様注意すると共に、井戸水は必ず煮沸後使用し、便所の汲取口には錠前口蓋をし窓には金網をはり汲口には蓋をし、塵芥箱には必ず蓋をして一週一回位は消毒剤をさん布すると非常に効果があります。暴飲暴食や寝冷をすると体の抵抗力が低下して発病の誘因となるから不衛生なことは極力避けるべきであります。

夏の「食中毒」の原因はほとんどが細菌によるもので、食品そのものは本来有毒ではないが、その取扱の不良によるものが多い、かびの生えた食物はそのまゝ喰べないが、細菌もこれと同じに繁しよくしているのだが眼で見えないので注意する人は少い。細菌は食品中の水分だけで繁しよくし、これからの気候は細菌の繁しよくに適した温度となり、食物についた細菌はどんどん繁しよくし、食物を変質させる。こうなつた食物を喰べる人はないがもし食中毒を起す細菌とか伝染病の細菌があると、食物が変質しなくとも喰べた人は食中毒を起したり伝染病にかかる。

この予防には

1　食品は清潔な店から必要なだけ買うこと。
2　買つた食品は蠅や鼠からまもり、更には冷蔵庫その他で低い温度で細菌の繁しよくを防ぐ。
3　食器は勿論、料理する人の手も喰べる人の手も清けつにする
4　生ものを喰べることを出来るだけさけて、煮たり焼たりすると安全。

三月月例出納検査報告

三月末における月例出納検査の結果が監査委員より報告されているのでお知らせする。

検査は四月二十二日、二十三日の両日おこなわれた。

収入の部では

品川区役所
三一、一七六、九〇二・四八
荏原庁
一二、八三六、二一三・三〇

三月末合計収入済額は四四、〇一三、一一五円七八銭となつている。

支出においては

品川区役所
一五、三〇九、一三九・〇〇
荏原庁
一〇、八四〇、〇一八・〇〇

三月末合計支出済額は二六、一四七、九三五円〇〇銭となつている。

三月における各款の支出累計額は

議会費	一一、四三七、六一八・五四
区役所費	九八、八〇〇、三二四・一七
土木費	五、八一五、六三八・〇〇
教育費	一〇、九八七、九四三・四〇
民生費	一、三二五、七〇六・〇〇
産業経済費	二九八、三〇六・〇〇
選挙費	三、四四五、〇一五・〇〇
統計費	一一七、九二二・〇〇
諸支出金	一四、一一一、五三八・四一
計	一八八、七四五、三九二・五二

である。

なお注意事項として

小山小学校増築工事
荏原第一中学校増築工事　に対して工事が一向進捗せず中止状態であるため、教育上大なる支障を来している折柄善処されるよう警告が出されている。

又妥当でない費目よりの一時流用する点に対し充分留意するよう要望されている。

品川図書館ニュース

学校も暑中休暇に入つて益々体育に読書に十分な時間ができました。図書館も続々図書の充実をはかつております。閲覧時間は午前九時から午後五時まで、休館日は毎週月曜で閲覧料は館内館外共に無料です。なお館外貸出は、品川区内に住むか、又は品川区内の学校、会社に通い区内に保証人のある方は館外貸出ができます。手続きは米穀通帳と認印とハガキを御持ちになれば二、三日後から貸出しできます。新入荷の図書は

〇新島繁　ジャーナリズム〇山田坂仁　理性と信仰〇思想の科学研究会　アメリカ思想史〇吉川英治　随筆宮本武蔵〇シュムペンター著　資本主義社会主義民主主義〇ユイル著　問題の鍵〇イリン著　原子世界への旅〇仁部富之助　野の鳥の生態〇関野克　日本住宅小史〇宮本百合子　平和をわれらに〇宮川寅　民族学講義〇芳賀四郎　国際連合概要の解説〇シュムペンター著　経済発展の理論〇ジョーンズ著　政治経済学講義〇吉川栄一　予算統制〇マルクス著　共産党宣言〇坂崎坦　西洋美術史概説〇園部三郎　音楽の階級性〇土方与志　演劇の話〇ゴーリキーの文学論〇森鷗外作品集〇岩田有史　父の口ぶえ〇永井荷風作品集〇島崎藤村全集〇三島由紀夫　愛の渇き〇大仏次郎　鞍馬天狗〇ヌカタテル　ヘコネ用水〇チェスタートン　木曜日の男〇フリーマン　オシリスの眼〇千野敏子　葦折れぬ〇渡辺淳　神を信じていた者も神を信じていなかつた者も